

事務事業名		各種大会運営支援事業				☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業					
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進				事業期間		予算科目					
	施策名	29 生涯スポーツの振興						会計	款	項	目	事業	
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の振興						01	10	06	01	02	
根拠法令													
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課				☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 S27 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入							
	課長名	江刺雄輝											
	係名	体育振興係	電話	27-3111									
	担当者	及川 悠輔	内線	273									
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)										全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
・スポーツの振興、市民の体力向上及び健康の増進、競技力の向上を図るとともに、スポーツによる交流人口の拡大を目的として、大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドマラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会を開催する。 ・市の事務は、主催団体の一員として各大会実行委員会への参加、大船渡市体育協会と連携して実行委員会事務局の運営、当日の大会運営全般へ携わる。 ・事業費は、各大会実行委員会への補助金である。 ・平成28年度に限り、大船渡ポートサイドマラソン大会は休止する。(希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ(マラソン)として開催する。)										総投入量 (千円)	事業費 内訳	国庫支出金	
												都道府県支出金	
												地方債	
												その他	
												一般財源	
												事業費計(A)	0
人件費	正規職員従事人数												
	延べ業務時間												
	人件費計(B)	0											
	トータルコスト(A)+(B)	0											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動)		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		名称	単位
大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドマラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催		ア 実行委員会開催数	回
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催		ウ	
※大船渡ポートサイドマラソン大会は休止(希望郷いわて国体デモンストレーションスポーツ(マラソン)として開催)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	単位
一般、高校生、小中学生のランナー		カ 募集要項発送数	通
バレーボールスポーツ少年団		キ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ク	
参加者が増加することで、競技人口の拡大が図られる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民の体力づくりが促進される。		名称	単位
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		サ 大会参加者数	人
スポーツ・レクリエーションが活発に行われる。		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

			年度	23年度（実績）	24年度（実績）	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（目標）
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,400
	事業費計（A）		千 円	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	1,400
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	620	620	620	620	800	600
		人件費計（B）	千 円	2,480	2,480	2,480	2,480	3,200	2,400
		トータルコスト(A)+(B)		千 円	5,480	5,480	5,480	5,480	6,200
⑤活動指標		ア	回	4	4	4	4	6	4
		イ							
		ウ							
⑥対象指標		カ	通	700	2000	2150	2200	2300	1000
		キ							
		ク							
⑦成果指標		サ	人	2079	3240	3159	3293	3462	2500
		シ							
		ス							

事務事業ID	1008	事務事業名	各種大会運営支援事業
--------	------	-------	------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

新春四大マラソン大会：昭和27年に県南地区駅伝競走大会が開催され、その後、三大会が追加された。平成13年に10マイルロードレースが50回を数えたことを契機として、これまで開催してきた四大会を総称して新春四大マラソンとしている。
 ボートサイドマラソン大会：1984年のオリンピック・ロサンゼルス大会出場者である佐々木七恵氏を顕彰するため、および、それに続くランナーの発掘・養成等を目的に1988年から開催している。
 ボートサイドバレーボール大会：平成4年に開催されたバルセロナ・オリンピックにバレーボール日本代表として出場した当市出身の栗生澤淳一氏を顕彰し、平成8年から開催されており、平成27年から小学生を対象として再開した。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

・平成27年度開催の大船渡新春四大マラソン大会から10km及び10マイルのコースについては公認コースでの競技実施とした。
 ・平成27年度開催の大船渡ボートサイドバレーボール大会から対象を小学生とした。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

マラソン：警察署より、主要な交差点等については、制服警備員を配置し、安全対策を強化するよう求められている。
 バレーボール：大会参加者及び競技関係者から大会の開催時期の固定化を求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	陸上競技(マラソン・駅伝)及びバレーボールの普及を図ることによって、当市のスポーツ・レクリエーション活動の推進に寄与している。	
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	市民の体力づくり等のスポーツ振興や、他市町村からの参加により大船渡市の地域活性化に寄与していることを鑑み、市が関与することが適切である。	
有効性 評価	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	出場チーム数の制限はあるものの参加対象は適切である。意図は競技人口の増加であり、適切である。	
	④ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	市外からの参加者も多く、大会規模も大きい。更なる周知により、成果をあげることが可能。	
有効性 評価	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	・大会出場機会の減少。 ・他市町村から参加するも多く、当市への経済効果も大きい。交流人口の減少につながる。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	ボートサイドマラソン大会と新春4大マラソン大会は、当市の体育・スポーツイベントとして定着した大きなイベントである。この2つの開催事業との連携により、事務事業の効率化と成果の向上が可能(イベントの統合ではない)。	
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	競技役員は競技関係者がボランティアで行っているため、これ以上の事業費削減は他大会と比較してサービスが低下することとなり、困難であると考え。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	平成18年度より指定管理者制度を導入し職員の関与を減らしており、これ以上の人件費削減は困難であると考え。	
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】	⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	各参加者から参加料を徴収しているため、受益者負担は公平・公正であると考え。	

事務事業ID	1008	事務事業名	各種大会運営支援事業
--------	------	-------	------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☐ 適切</td> <td>☒ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>		① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成26年度大会では、昨年に比べ申込者が減少した。 走路の安全確保を徹底するなど、おおむね順調に大会が運営された。																			
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 大会の効率的な運営に努める。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上		●																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 更に多くの参加による盛大な大会とするため、更なるPR・周知を図る。 また、震災により公認コースの再設定も要するとともに、大会開催における安全確保対策の徹底は年々重要視されていることから、大会を盛り上げつつ、安全確保を図るため、大会運営にかかる費用の増大も課題の一つである。																																	

(職 名) ※原則として施策の主管課長 (氏 名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	生涯学習課長	江刺雄輝
-------	--------	------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 ①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果 <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>☒ 適切</td> <td>☐ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	(3) 評価結果の根拠と理由 概ね適切な事務事業執行がなされている。																		
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																															
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) <table border="1"> <tr> <td>☐ 廃止</td> <td>☐ 休止</td> <td>☐ 目的再設定</td> <td>☐ 事業統合・連携</td> <td>☒ 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="5">事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td> </tr> </table> (上記方向性に対する具体的な内容) 継続して事務事業を実施する。各種大会が交流人口拡大、健康意識向上に寄与するよう配慮する。		☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																													
事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																																	
		コスト																															
		削減	維持	増加																													
成果	向上		●																														
	維持			×																													
	低下		×	×																													

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
